

山下下名楽太鼓踊り



入来町に延々と460年以上受け継がれている太鼓踊りである。

勇壮果敢な尚武の踊りの時代から、今日では農作物の豊作（五穀豊穡）、平和な町づくりの踊りと変化している。

踊りは鉦と太鼓によって楽を作り、「リズム」により足の運び、体のこなしをもって、踊りの内容を表現していく。

鉦打は武士を表し、太鼓は後方支援の部隊を表し、更に太鼓は鉦の相棺役で「リズム」「テンポ」に必要な役割を持つ踊りと言われている。

平成12年には国民文化祭民俗芸能の祭典（広島県神石で開催）に出場した。

【奉納・披露】

日程：毎年8月の最終日曜日

場所：諏訪神社・近岡神社・大宮神社（入来町）